

中里小学校 学校だより

令和6年1月12日

なかざと

第15号

文責 大石 泰文

学校教育目標：夢をもち、みんなと共に生きる子どもの育成～中里仲よし(共に学び、共に育つ)～

「まとめ」と「準備」の3学期に

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願い致します。

1月9日(火)に3学期の始業式を行いました。子どもたちが元気な顔で学校に戻ってきたことを大変うれしく思いました。どの顔も「3学期も頑張るぞ」というやる気に溢れているように見えました。

3学期は1年の締めくくりと次年度に向けた準備のための大切な学期です。1年間の仕上げとして、それぞれの学年で身につけるべき力を定着させ、新しい学年にむけての準備をしっかりと進めていかなければなりません。

子どもたちが、1年間のゴール到達の喜びを味わい自分の確かな成長をしっかりと実感できるように、全職員で力を合わせ教育活動に邁進する所存です。

3学期も、保護者・地域の皆様これまでと変わらぬ温かいご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

「あいさつ運動」もスタート!

「おはようございます!」

玄関前に元気な子どもたちの声、地域の皆様のご挨拶が響きました。毎月はじめに実施している「あいさつ運動」ですが、令和6年も無事に開始することができました。子どもたちも「気持ちの良い挨拶」を意識する良い機会となっています。

地域の皆様、早朝よりありがとうございます。



決意を新たに

始業式で3名の子どもが決意発表をしてくれましたのでご紹介します。

「三学期にがんばりたいこと」

わたしは、三学期にがんばりたいことが三つあります。

一つ目は、じゅ業中の発表です。二学期にがんばった発表を、三学期ではもっとふやしていきたいと思っています。それから、算数の時間などに、先生から「となりの人と相談してください。」と言われた時に、自分の考えをくわしくせつ明できない時がありました。三学期は、自分の考えを、友だちに上手に話すこともできるようにになりたいです。

二つ目は、あいさつです。二学期は「大きい声ではっきりと言う。」ことはクリアできましたが、「自分から」のところが足りなかったので、がんばりたいと思います。また、あいさつだけでなく、くつだなや、だまってピカピカそうじなど、お昼のほう送で「今日のアイドル学級は、三年生です。」と言われるように、クラスの間みんなともがんばりたいです。

三つ目は、昼休みのすごし方です。この前友だちから「いっしょに遊ぼう。」と声をかけてもらって、とてもうれしかったです。

私は自分から声をかけるのが苦手なタイプですが、自分がされて、うれしかったことを、友だちにも広げていきたいので、三学期はちょうせんしてみようと思います。

今日からの三学期は、学習面、生活面、それから友だち関係について、今言ったことを意識して、たっせいでできるようにがんばりたいです。

2024

高瀬 心菜



「三学期のわたし」

河野 紗良

三学期は、やさしくてべん強がさらにできる自分になりたいです。そのためにがんばりたいことが四つあります。

一つ目は、体調をあまりくずさず、元気でいることです。体調をくずしたり、かぜをひいたら、べん強ができなくなるからです。少しずつべん強がおいでいかれると、自分によゆうがなくなり、みんなにやさしくできなくなります。

二つ目は、苦手な教科も少しずつやっていくことです。とくいな教科をのぼすことも大切ですが、苦手な教科も少しずつやらないと社会人になってこまってしまうからです。そのためにすることは、家でも苦手な問題にちょうせんすることです。

三つ目は、話をちゃんと聞くことです。話を聞くことで、やることが分かりこまっている人がいたらやることを教えられてたすけることができるからです。

四つ目は、いろいろな人にやさしくせつすることです。わたしはもうそろそろ引っ越しをしてしまうからです。いろいろな人にやさしくしてたくさんの思い出を作りたいからです。校長先生が言っていた「あ・い・う・え・お」のおである「思いやり」をがんばって楽しくさよならがしたいからです。

三学期は四つのことをがんばってさらにやさしくてべん強ができるようになります。

「三学期の目ひょう」

眞浦 雅

三年生の生活ものこり少なくなりました。

そこで、ステキなしめくりができるように、私は、三学期にがんばりたいことが三つあります。

一つ目は、図書室で、本をたくさんかりて読むことです。なぜかという、二学期は、昼休みにあまり多くかりれなくて、本を少ししか読まなかったからです。三学期は、「毎週水曜日に行く。」と決めたので、これからはたくさん本を読めるようにがんばります。

二つ目は、三分前着せきです。なぜかという、二学期は、時間を気にせず、たまに友だちと話をしていることがあり、友だちに声をかけられてから気づくことがありました。三学期は時間をよく見て、三分前着せきをがんばろうと思います。

三つ目は、一年間のしめくりです。今までは、しゆく題やへんじなどは、先生にちゅういをされないといけないことが多かったので、三学期は、まずさいしょにしゆく題をするようにします。そして、名前をよばれたり声をかけられたりしたら、まずへんじをするようにがんばります。

さいごに、家のことについてです。妹や弟のおせわ、手伝いをがんばります。

今までの手伝いは、おふろそうじやそうじきぐらいしかしていなかったけれど、三学期は、せんたくなどをたたむ仕事もやっていきたいと思います。妹や弟の世話も自分の都合がいい時だけやっていたので、三学期はどんな時でも妹や弟の世話をがんばります。私は、これらを守って、ステキな三学期にしようと思います。



膾

?

魚膾

3学期が始まり、子どもたちが楽しみにしている給食も始まりました。初日は「ごはん・七草汁・さばみそ煮・紅白なます・みかん」という献立でした。

給食前に低学年の子どもたちに「なますって知っている？」と尋ねても、ほとんど「知りません!」という返事でした。高学年の子どもたちは「あの、大根と人参の…」と答える子が多かったので、実際にお料理を見れば分かったのかもしれませんが。

お酢を使っているので、てっきり「生酢」という漢字を書くのかなと思っていましたが、漢字で書くと「膾」だそうです。「膾」とも書くということと理由を調べたところ、もともと「なます」というのは、切り分けた獣肉や魚肉に調味料を合わせて生食する料理を指していたようです。獣肉を用いた物は「膾」、魚肉を用いて同様の調理をしたものは「魚膾」といったところからこのことでした。

おせち料理に紅白なますが入っているのは、紅白は縁起が良く、平和を願う心からといえます。

今日の学校の様子等をお子さんと話される時に給食の献立についても話題にされると、ご家庭での会話もいっそう弾むかもしれません…。